



元気いっぱいの冬休みを

～「やる気・根気・勇気(心の苗木)」を自分で育てる柏っ子～

校長 南館義孝

「校長先生、校庭が真っ白。今日はスケートがあるんだ、楽しみ。」

校庭に雪が積もり、本格的な冬の訪れに子どもたちはわくわくしています。スケート教室を行いました。八戸市の事業の一環として、県スケート連盟の皆様からスケートの滑り方を教えていただき、「氷都はちのへ」の子どもらしくスケートがとても上手になりました。

柏っ子は、12月24日から来年の1月12日まで、20日間の冬休みを迎えます。寒さがこれから本番ですので、新型コロナウイルスとともに季節性インフルエンザにも気を付けながら、健康管理に十分気を付けて過ごしてほしいと思います。そして、冬休み中も、「やる気・根気・勇気」を自分の心の中で育て、元気いっぱいの笑顔で三学期を迎えることを職員一同願っております。

◆ 指導内容の理解を深める「園の参観」

11月中旬から12月上旬にかけて、本校の教員が、柏崎地区にある6つの園（むつみ保育園・類家保育園・みどり幼稚園・イメルダ幼稚園・聖アンナ幼稚園・八戸幼稚園）に3人ずつ訪問しました。多くの教員が地域の園を参観することは初めての試みです。目的は、園の指導内容等の理解を深め、更に連携を図ることです。園を参観した教員からは「子どもの興味に



合わせて様々な活動を行わせていた。」「テーマから何を作るのかを決めるのではなく、材料を見て、感じて、表してみようということを行っていた。抽象から見出す力という言葉が印象に残った。」「活動の中で、困ったことがあると、先生と子どもたちが話し合って解決していた姿が印象的だった。」という感想がありました。遊びや生活をとおして工夫された環境の中で総合的に学んでいく、幼児教育を知る貴重な参観となりました。

◆ 冬季国体のおもてなし「のぼり旗製作」

来年の1月28日～2月5日に八戸市等において開催される特別国体スケート・アイスホッケー競技会に参加する選手・監督等を歓迎、応援するため、市内各小中学校に各都道府県の「のぼり旗」の製作の協力依頼がありました。本校は、「沖縄県」の担当となり、学校を代表して6年生がのぼり旗を製作しました。沖縄県の皆さんが喜んでくださるよう、タブレットで調べながら、沖縄の方言「ちばりよ」(頑張れ)のメッセージや、首里城・パイナップル・シークワサーなどのイラストをていねいに描き、のぼり旗を完成させました。のぼり旗が、各競技会場に設置されることが楽しみです。

